

## 循環型社会を目指して

京王グループでは、限りある資源を有効活用し、事業活動におけるリサイクル・リノベーション等を通じて循環型社会の実現を目指します。



### 資源の有効活用

#### ▶車両洗車時の節水

京王線の若葉台工場では、「処理水再利用装置」を導入し、使用済みの水の汚れを取り除くほか、工場内の湧水を活用し、洗浄水などに利用しています。現在、利用している水の半分以上はこの装置により処理されたものです。

また、若葉台と高幡不動の車両基地では、車両洗浄に使用する水を従来に比べ約半分にできる節水型車両洗浄装置を導入しています。



節水型車両洗浄装置

#### ▶リサイクル

##### ●きっぷ

使用済みきっぷをリサイクルして、駅のトイレトーパーとして使用しています。

##### ●ペットボトル

駅売店などで回収された飲料用ペットボトルをリサイクルし、駅の案内板に使用しています。

#### ▶間伐材を使用したベンチ

一部の駅に木の温かみを感じられる木製ベンチを設置しています。素材には、多摩地域で発生した間伐材を使用しています。



#### ▶車両のリニューアル・再生

京王重機整備では、現役車両のリニューアル工事や京王電鉄他を引退した車両の再生化工事を実施しています。全国の鉄軌道事業者のニーズに合わせ、新造車同様に再生した改造車両を、約200両提供しています。



伊予鉄道3000系 (元京王3000系)

#### ▶緑化廃棄物処理

京王レクリエーションでは外部会社と協力し、桜ヶ丘カントリークラブのコースで発生した緑化廃棄物(折れ枝・落葉など)を、パルプチップやバイオマスチップにリサイクルすることで堆肥や燃料として有効利用する取り組みを行っています。

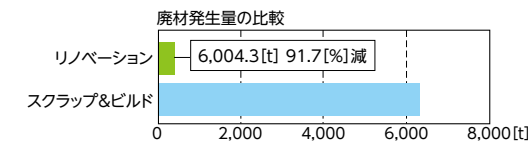
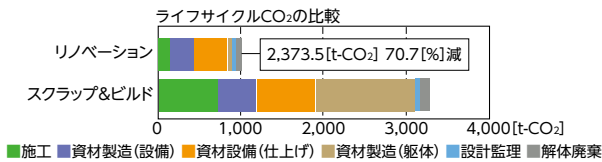


14 海の豊かさを  
守ろう



▶環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開

既存建物を再生し、魅力ある住宅を供給するリノベーション事業は、限られた資源を有効に使い、CO<sub>2</sub>排出を抑制する環境にやさしい手法です。例えば、リビタが手がけた「リノア多摩川CORTE」では、省エネ改修によって、ライフサイクルCO<sub>2</sub>\*1を70%削減、廃材発生量\*2を91%削減することができました。



※1 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建物の建設から運用、解体までのライフサイクルを通じて排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の量を指します。  
 ※2 廃材発生量とは、建物を解体した場合に発生する材料を指します。建物を与える地球温暖化への影響を評価する指標です。

▶エコステイ

京王プレミアホテルでは、連泊のお客様を対象にシーツ、枕カバーを交換せずに清掃を行い、クリーニングの回数を減らして水資源保護・CO<sub>2</sub>排出削減を図る「エコロジー清掃」を導入しています。

お客様には「ベッドリネン交換要望カード」で意思表示をさせていただいております。



京王プレミアホテル札幌



ベッドリネン交換要望カード

topics

■ 築29年の複合ビルをリノベーション  
「KIRO 広島 by THE SHARE HOTELS」

リノベーションホテル「THE SHARE HOTELS」の7号店となる「KIRO 広島 by THE SHARE HOTELS」が2019年9月にオープンしました。

既存物件に残っていた屋内プールを活用したバーラウンジやシェアキッチンなどは、地域住民と観光客が交流できる、街に開かれたシェアスペースとなっています。



▶海洋プラスチックゴミ問題への対応

京王プラザホテルチェーンでは年間約43万本使用していたプラスチックストローを、2018年12月より新宿・多摩・八王子・札幌、4つのチェーンホテルで原則廃止し、紙製ストローへ移行しました。

その他、京王百貨店および京王ストアでは、お客様により一層のマイバッグの持参を呼びかけています。

